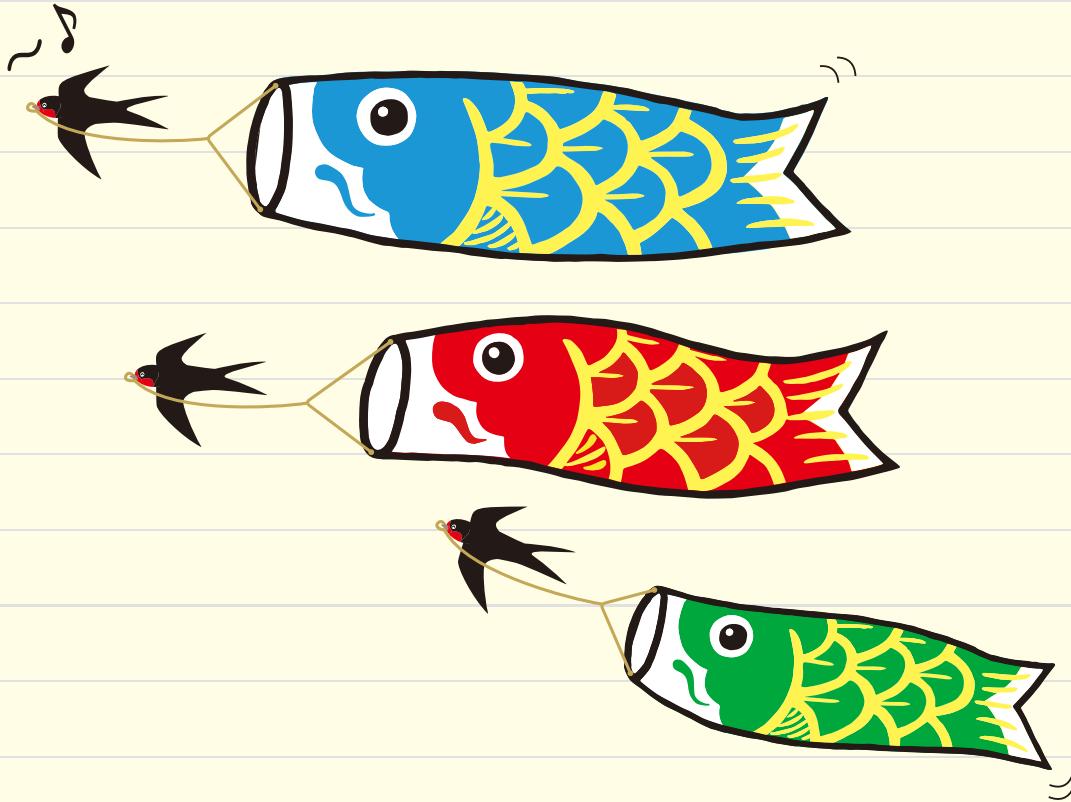


議会が「グッと」近くなる 発行 2014年5月1日 No.34
つばめ市議会 ノートブック



Action 24 24名の議員が市民の代表として行動しています



新規事業

ギカイハ・ココニ・チュウモク

平成 26 年度予算編成の 6 つの柱

- 1 新しい活力を創造するまち
- 2 未来の燕を担う子どもたちを育むまち
- 3 生きがいとやさしさを実感できるまち
- 4 快適で住みやすく、愛着を感じるまち
- 5 利便性が高く、にぎわいを創るまち
- 6 市民とともに築くまち

にぎわいを創る

高速バス乗場駐車場整備事業 1 億 3,000 万円 (土木課)

路上駐車の減少を図るため、高速バスの新潟市方面乗場側に専用駐車場が整備されます。

本町排水区管渠施設改築更新事業 (長寿命化)

2,300 万円 (下水道課)

本町排水区の下水道管の老朽化による道路陥没を防止するため、長寿命化計画に基づいて、布設後 40 年以上経過している下水道管改修の設計が実施されます。

その他

県央大橋西詰周辺地域整備基本計画 策定事業(仮称) 1,026 万円 (企画財政課)

県央大橋西詰周辺地域の観光交流拠点のあり方を検討し、周辺施設の連携を図るためのエリア整備基本計画が策定されます。



新しい活力を

つばめ東京オリンピックプロジェクト 191 万円 (商工振興課)

2020 年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、産地としての貢献、また開催を契機に世界に向けて燕ブランドを発信していくため、市内関係団体と協働による事業が展開されます。

多面的機能支払交付金事業 7,376 万 6 千円 (農政課)

農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動に対し、支援が行われます。

- 農地維持支払…多面的機能を支える共同活動を支援
- 資源向上支払…地域資源(水路・農道等)の質的向上や施設の長寿化に対する活動を支援

燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン 策定事業

15 万円 (企画財政課)

燕・弥彦地域の魅力をさらに高めるため、観光振興や公共交通の連携強化など、交流人口の拡大を図るためのビジョンが策定されます。



燕市ものづくり品質管理制度(TSO) 運営事業

1,816 万 6 千円 (商工振興課)

燕商工会議所が行ってきた地域版品質管理認証制度(TSO)を市に移管することにより、市内全事業所を対象に実施されます。



TSO…Tsubame Standard Organization

平成 26 年度
予算総額 590 億 487 万円
一般会計 385 億 3,700 万円
特別会計 204 億 6,787 万円

平成 26 年度の全会計当初予算額

一般会計	385 億 3,700 万円 (357 億 5,831 万円)
特別会計	国民健康保険 83 億 2,064 万円
	後期高齢者医療 6 億 8,737 万円
	介護保険事業 75 億 9,591 万円
	公共下水道事業 37 億 6,736 万円
	土地取得 9,523 万円
	企業団地造成事業 134 万円
温泉保養センター	廃止します
水道事業会計	23 億 432 万円
合計	590 億 487 万円 (562 億 2,619 万円)

※()は借換債を除いた実質的な予算額。

※万円未満を切り捨てで記載してあるため、合計額と一致しない場合があります。

生きがいとやさしさ

健康づくりマイストーリー運動 339 万 5 千円 (健康づくり課)

元気で生き生きとした人生を過ごすために“いつでも・どこでも・だれとでも・気軽に・自分らしく・自分のペースで・自分に合った”健康づくりに取り組む「健康づくりマイストーリー運動」が実施されます。

障がい者基幹相談支援センター機能 強化事業 2,660 万円 (社会福祉課)

福祉総合相談支援体制の推進に向けた第一段階として、民間から専門職を迎える「燕市障がい者基幹相談支援センター」を設置し、相談支援専門員が増員されます。



認知症対策等総合支援事業 650 万円 (長寿福祉課)

医療・介護及び生活支援サービスや地域の支援機関等のネットワークを形成し、地域における支援体制を構築するための認知症地域支援推進員が配置されます。



生活困窮者自立支援事業 373 万 3 千円 (社会福祉課)

生活困窮者の包括的な支援等、一般就労に向けた生活習慣の確立、社会参加能力の形成、就労体験の支援が実施されます。



市民とともに

ふるさと燕応援事業 30 万円 (総務課)

市外からの寄附者(ふるさと納税)に、お礼として市特産品をプレゼントすることで、燕の魅力発信を新たに展開し、交流・応援人口の拡大が図られます。

子どもたちを育むまち

燕西こども園整備事業(仮称) 6,774 万 2 千円 (子育て支援課)

(事業期間 平成 26 年～27 年)

燕西幼稚園と燕保育園を統合して(仮称)燕西こども園に整備。用地購入・園舎建築設計業務委託・地質調査が実施されます。



病児・病後児保育 運営事業

1,821 万 7 千円

(子育て支援課)

市内小児科医院に併設した保育施設において、病気の児童を一時的に保育する病児・病後児保育事業の運営が4月から始まります。

住みやすいまち

高齢者運転免許自主返納推進事業 160 万円 (生活環境課)

高齢者の交通事故防止対策として、運転免許を自主返納した満 65 歳以上の方に、公共交通手段の利用券が進呈されます。



小型家電リサイクル推進事業 (実証実験)

73 万 1 千円

(生活環境課)

埋め立て等により廃棄処分されている「携帯電話」「デジカメ」などの小型家電をゴミから資源とするため、障がい者福祉施設と連携し、ゴミの減量化・有用金属の再資源化が図られます。



おぢや震災ミュージアム「そなえ館」

答 防災無線などの広報媒体を活用して周知し、今後は、市のホームページにも掲載したい。

いじめ防止対策に努力を



田辺 博 議員(無所属)

答 現在学校ごとに、いじめ防止基本方針を策定している。地域・保護者との連携を一層図り、これまで以上に家庭との対話を努めている。



旧燕工業高校跡地

答 燕市では施設入所待機者が500人以上いる。住みなれた所で一生を過ごすことができれば最高の幸せだと思うが、燕市では入所施設が足りていない。県立武道館を誘致した旧燕工業高校があるが、膨大な土地建物であり、ここに3障がい者が入所できる施設をつくるべきと思うが。

答 譲渡を受けた契約書の規定で、10年間は埋蔵文化財の保管場所や体育施設として使用する用途が指定されており、用途の指定解除ができないか県と協議を重ねている。用途指定が解除となつた暁には、福祉施設をはじめ、あらゆる角度から活用策を検討している。

18名の議員が聞いた!

一般質問

3月議会では、18名の議員が質問に立ちました。
全質問項目は下記のとおりです。7ページからの本文は、質問をした議員本人が要約して執筆しています。

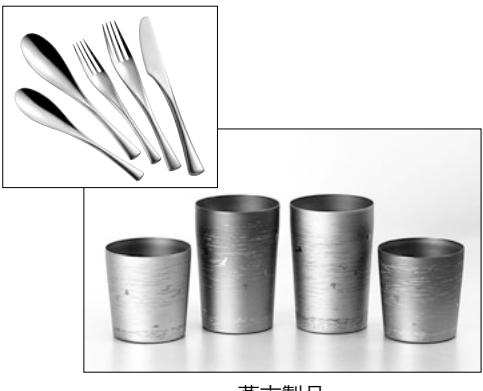
- | | | |
|------------------------|-------|---|
| 7P 渡邊雄三 議員
(公明党) | No.1 | 1. 地域防災について
2. 環境問題について |
| 7P 田辺 博 議員
(無所属) | No.2 | 1. 教育について
2. 福祉について |
| 8P 橋浦恵美 議員
(公明党) | No.3 | 1. 安心して暮らせるまちづくりについて
2. 男女共同参画の推進について |
| 8P 本多了一 議員
(日本共産党) | No.4 | 1. 市長の政治姿勢について
2. 市民要求への対応について
3. 農政について |
| 9P 中島清一 議員
(旭日会) | No.5 | 1. 防災・減災対策について
2. 老朽化対策について
3. 東京オリンピックプロジェクトについて
4. ふるさと応援事業について
5. 教育問題について |
| 9P 塙 豊 議員
(旭日会) | No.6 | 1. 平成26年度予算について
2. 土地取得特別会計、企業団地造成事業特別会計について
3. 教育問題について |
| 10P 大岩 勉 議員
(旭日会) | No.7 | 1. 柏崎・刈羽原発について
2. ガス事業譲渡清算金活用基金(吉田地区)について |
| 10P 小林由明 議員
(旭日会) | No.8 | 1. 市街地の活性化について
2. 防災・救急への取り組みによる、住民交流の活性化について
3. 全世代で取り組む、住みよいまちの実現について |
| 13P 渡邊広宣 議員
(鴻鵠クラブ) | No.13 | 1. 財政計画について
2. 新年度予算について
3. 燕市の産業について
4. 職員の実態について
5. 農業政策について |
| 13P タナカ・キン 議員
(無所属) | No.14 | 1. つばめ若者会議について
2. 子宮頸がんワクチン接種について
3. 分水庁舎解体工事について
4. LED照明設備導入設置費補助金事業について |
| 14P 丸山吉朗 議員
(大河の会) | No.15 | 1. 教育行政について
2. 指定管理について
3. 空き家対策について |
| 14P 山崎雅男 議員
(旭日会) | No.16 | 1. 高速バス乗場駐車場整備について
2. 燕市吉田トレーニングセンター(ビジョンよしだ)について
3. 農業問題について
4. 中学校部活動の取り組みについて |
| 15P 斎藤紀美江 議員
(旭日会) | No.17 | 1. 防災対策について
2. 旧吉田庁舎の利活用について
3. 男女共同参画の取り組みについて |
| 15P 阿部健二 議員
(無所属) | No.18 | 1. 市政について
2. 人権について |

ひとくちメモ… 一般質問の人数に制限はありません。1人当たりの質問時間は30分以内です。

質問を行う議員は、事前に「こんな質問をします」という通告を書面で行います。
本会議における質問の順番は受け付け順となっています。

東京五輪の選手村に燕市の製品を

問 平成 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催が決まりました。直後に市長は、選手村で本市特産の洋食器や厨房用品を使つてもうることを目指し、プロジェクトの設立を提案されたと聞いている。これまでの市長の取り組みを伺いたい。



燕市製品



中島清一 議員(旭日会)

答 開催が決まつた瞬間、燕市としてこのオリンピックに貢献できるのではないかと感じた。オール燕として一丸となつて取り組むことで、産地の技術力や品質の良さを幅広く発信できるのではないかという思いで、いち早く

答 燕市では、4つの民間の相談支援事業所と福祉課で、障がい福祉サービスに関する相談や日常生活支援に関する相談などを受けています。相談件数や困難かつ重層事例の増加により、どの事業所も適切に相談が受けられない状況にあります。そのため、各種専門機関とのネットワークづくりなどが喫緊の課題となつていて。こうした課題に対応すべく、相談支援員と民間事業所から相談支援の専門職員を迎えて、燕市の障がい福祉の相談支援体制の強化に努めています。

問 女性の就業環境の整備について、女性が継続して就業できる環境づくりや再就職への支援が必要だと思うが、考えを伺いたい。

答 女性が継続して就業できる環境づくりは、男女共同参画の重要な取り組みだと認識している。本年4月から病児・病後児保育を県央地域では初めて開始する運びと



平成 24 年 3 月に策定されました

魅力ある授業を目指して



堀 豊 議員(旭日会)

問 学力向上の基本は、教師と生徒の信頼関係にあると考えています。生徒たちの信頼なくして、学力の向上はないと考えるが、教育委員会の考えを伺いたい。

答 生徒が教師を信頼する一番の要因は、授業にあると考えている。「この先生はいい人だ」とか言うのではなく、すばらしい授業をするのが肝心である。授業改善に取り組み、魅力ある授業を目指し、一層努力をしていきたいと考えている。



小池小学校

問 燕市の土地取得特別会計での資産状況について伺う。また、一番古い土地の取得はいつごろなのか。特別会計の問題点としては、出入りの部分だけを予算化すればよく、議会側から見ると土地取得特別会計の全体像がわからにくく、議会側から見ると土地取得の欠点がある。長期に保有している土地をどのようにしていくのか伺いたい。

答 土地面積で 1 万 6,487 平方メートル、原価は 5 億 1,368 万 5,000 円で、預金残高は 1 億 3,813 万 1,000 円。最も古いものは、27 年前に取得した道金地内の 85 平方メートルである。塩漬けとなつていて、議会側から見ると土地の処分を所管課任せにしてきたが、当局側で情報共有を図つてたたき台をつくり、議会に示し、相談したいと考えている。

障がい者基幹相談支援センターの業務は

問 平成 26 年度から健康福祉部の中に障がい者基幹相談支援センターが新設されるが、どのような業務を行っていくのか。

答 燕市では、4つの民間の相談支援事業所と福祉課で、障がい福祉サービスに関する相談や日常生活支援に関する相談などを受けています。相談件数や困難かつ重層事例の増加により、どの事業所も適切に相談が受けられない状況にあります。そのため、各種専門機関とのネットワークづくりなどが喫緊の課題となつていて。こうした課題に対応すべく、相談支援員と民間事業所から相談支援の専門職員を迎えて、燕市の障がい福祉の相談支援体制の強化に努めています。

問 女性の就業環境の整備について、女性が継続して就業できる環境づくりや再就職への支援が必要だと思うが、考えを伺いたい。

答 女性が継続して就業できる環境づくりは、男女共同参画の重要な取り組みだと認識している。本年4月から病児・病後児保育を県央地域では初めて開始する運びとなり、今後も引き続き保育環境の充実に取り組んでいきたい。再就職への支援については、ハローワークでの職業訓練などの情報提供に加え、起業を支援する取り組みを行う「みらい起業塾」を開講し、多くの女性の方が受講している。

樋浦恵美 議員(公明党)

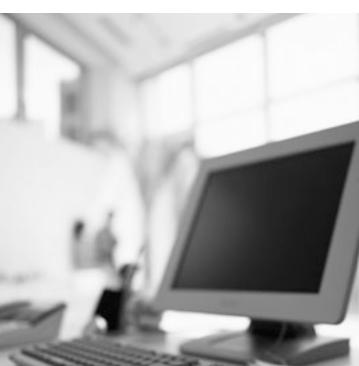
こわい！ 特定秘密保護法

問 特定秘密保護法の廃止を求める地方議会の決議や意見書が 100 自治体以上と言われる。この法律は法案提出からわずか 1 ヶ月余りで、審議時間は衆参両院合せて 70 時間にも満たないので、委員会で突然質疑を打ち切り、強行採決されたものである。この法律が施行されれば、場合によっては燕市の一市民もこの法律違反に問われる危険性があるのではないかと危惧している。市長はこの特定秘密保護法とその決め方について、どのような認識を持っているのか。

答 この法律に對して国民の方々が不安に思つていて、疑問に思つてることは本多議員が例示されたことだろうと私も仄聞(うすす聞くこと)している。法律の審議過程を見ると私としては、もう少し国民に十分説明を行い、理解を得ながら議論を進めていく必要があつたとと思う。

問 道路の補修や下水路の整備の要望が各地にある。当然実態を把握していると思うが、どのように対応されるのか。

答 市で管理している道路や排水路は各年度で現地・現場を確認し、工事箇所によっては年次計画により施工している。完了するまでは数年の時間を要する場合もあるので、よろしくお願いしたい。



アクセスした情報が…

問 信濃川や中之口川に面し、大曲河川公園や大河津公園、分水さくら公園もあるが、川の駅などの考えはあるか。



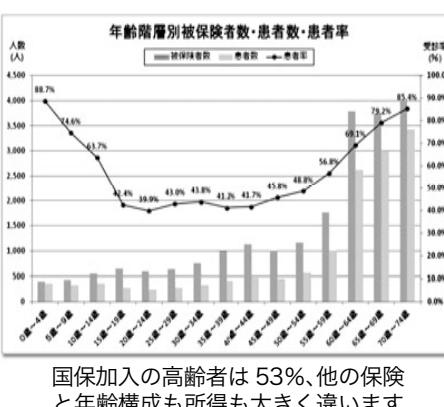
燕市産業史料館

答 県央大橋西詰め周辺は、利便性などからも磨けば光る地域。平成26年度に外部も交えた検討委員会で（仮称）県央大橋西詰周辺地域整備基本計画の検討に入る。観光交流拠点のあり方は、メガソーラー発電などの実績を踏まえ、民間活力導入も含めて総合的に検討する。河川公園などの資源を生かして、エリア全体の魅力アップを図りたい。



齋藤信行 議員(大河の会)

大曲河川公園の周辺 「川の駅」について



店街の活性化は
がチャンス！



小林由明 議員(旭日会)

答　国保の一般財源の繰り入れに
関しては、私はこの燕市の将来の
財政運営に禍根を残したくないと
いう信念を持つてゐる。そういう
ことも含めて4月に審判を仰ぐと
言つてゐる。

入だ。他の保険とは基本的に構成が違つている。市長はこれを見ずに「一般会計からの繰り入れはそぐわない」と言つているのではなかいか。当局作成の資料でも「自営業者、農業事業者のみでなく、定年等で退職したサラ

卷之三

年齢層	NHI参保者数 (%)	患者数 (%)	患者率 (%)
40-49歳	88.7	64.6	73.2
50-54歳	63.7	42.4	65.7
55-59歳	35.9	35.9	53.0
60-64歳	43.0	43.0	58.5
65-69歳	43.8	41.2	57.5
70-74歳	41.2	41.2	53.0
75-79歳	45.8	44.8	58.4
80-84歳	56.8	60.1	79.2
85歳以上	79.2	79.2	79.2

答 今後はこれまでの周知方法に加えて、商店街の代表者や商工会議所を通じ、より一層周知を図っていきたい。

問 商店店主や地域住民、そして思いを持ったさまざまな方を巻き込み、地域に眠る資源や可能性に気づき取り組みと、それを結びつけ

度等、公的支援制度が商店主等に十分に知られていない。商店主等に、公の助成制度を理解し活用してもらう取り組みが必要ではないか。



アーケードが撤去され、広く明るくなった
仲町・宮町商店街

【問】 答 その土地に根差したストーリーとして発信していくと思うので、商店街の皆さんなどに提案していきたい。

語づくりによる商店街の活性化に取り組めないか。

栗生津小と吉田北小の事業は、先送りさせていただいた。次年度の計画に反映する。

問 平成26年度末のガス譲渡の基金残高と今後の対応はどうなるのか伺う。

答 西太田保育園改造事業と平成25年度からの事業で吉田小学校改造事業に繰り入れをする。基金残高は、平成26年度末で8億8130万4000円、今後ガス基金を活用する事業は、栗生津小学校と吉田北小学校の改修事業となる。当該事業の実施後において、基金残高が生じる場合には、吉田地区の改修が必要な施設の整備などに充てることを検討していく。



大規模改造事業

シツモンシヤ・ホンニンガ・ゲンコウヲ：カイテイマス

【問】ガス譲渡清算金は、旧市町固有の財源である。このガス譲渡清算金で、平成26年度・平成27年度で栗生津小3億円、吉田北小3億円の大規模改修事業が計画されているが、その内容について伺う。



土田 昇 議員(日本共産党)

市民に信頼される行政運営を

答 安定した財政運営の指針とするため、中長期的な財政見通しの作成を継続していく。長期的な財政見通しは難しいところもあるが、税制度・社会保障制度を基本に、総合計画・行政大綱・新年度に策定する公共施設等総合管理計画との整合性を図りながら、随時解決していくたい。



渡邊広宣 議員(鴻鵠クラブ)



研磨技術者の育成を図る磨き屋一番館



現場検証を行わない処置は適切か?



タナカ・キン 議員(無所属)

問 分水庁舎解体工事作業中の重油流出事故の詳しい報告が、議会にされていない。処理した污水や入れかえた土の量、かかった費用は幾らだったのか。



穴の開いた重油タンク

答 処理した污水は56トン、汚泥は107.6トンで、処理費用は1397万5500円である。



穴の開いた重油タンク

問 現場検証も行っていないが、作業中の事故の責任の所在について、市と業者の責任の割合は。答 割合というよりも、請負業者には責任はないものと理解している。



穴の開いた重油タンク

問 現場検証も行っていないが、作業中の事故の責任の所在について、市と業者の責任の割合は。答 割合というよりも、請負業者には責任はないものと理解している。



新・旧庁舎の「コスト比較

問 新・旧庁舎のコストの差は、どの程度か。

答 旧3庁舎の平成18年・19年の2力年の平均は1億280万円である。それに対して新庁舎は、8520万円と試算していたが、電気料金等の値上げもあって9473万円で、削減額は807万円と見積もっている。環境共生型庁舎の特徴を生かして、ランニングコストの削減に努めたい。



新庁舎 (南側)



大原伊一 議員(旭日会)

問 平成26年度当初予算では、老朽化した公共施設の改修に28億円

程度の予算計上となつたが、全ての公共施設のあり方を検証する時期に来ているのではないか。

答 平成26年度中に公共施設全体を把握して、財政状況・人口動態などを踏まえた見通しに基づき、施設の統廃合・更新・長寿命化を盛り込んだ公共施設等総合管理計画を策定する。議員ご指摘の公共施設の将来ビジョンである。

問 またしても行われる、猫の日について伺う。

答 農地中間管理機構が行う基盤整備に伴う費用は、受け手が負担する。水田フル活用では、米粉用米は消費減による作付の減少、飼料米については、県が試験圃場で検証のため、一般栽培は行わない。

問 建築・設備・電気と分離発注が市内業者育成に対する方向であるが、行われているのか伺う。

答 市内業者を優先に入札を行っている。本年度は特に労務単価や建設資材等の高騰により、一括発注体制も出

始めているが、これは特殊事情で、やむを得ないものと考えている。

問 学校教育指導で専門高校進学指導について伺う。工業高校・商業高校・看護師など専門校に進学希望の生徒数を伺う。

答 今年度市内の中学校3年生は734名である。そのうち工業高

校を希望している生徒が約50名、商業高校への希望が約30名、高等科の衛生看護科を希望している生徒が約10名である。

問 中学校の部活動は、地域・小学校と連携を持ち、各中学校に特色を持たせ、顧問も専門的指導に向けた努力を。

答 各学校においては、各学校の特色を生かしながら、部活動の取り組みを進めていく。

問 「スクールサポート制度」という、経験豊かな元警察官などを嘱託員として採用活動する制度を利用してはどうか伺う。

答 学校と地域、警察とのパイプラ、非行防止支援をはじめ犯罪被害防止教育の支援や、児童生徒の安全教育の充実に資するものだと思う。各学校に制度の周知を図っていく。

問 三條市環境センター・消防署・防災課・生活環境課・営繕建築課と請負業者である。

答 ここにも設計監理者がいないのは何かおかしい。重油タンクの写真を見ると大きな穴が開いていて、ここから流出したということだが、内部の写真はあるのか。

答 その写真は撮られていない。いろんな部署の人たちが立ち会っていて、なぜ撮らないのか。

答 写真がない点については、少し落ち度があつたと思っている。

「地域の安全は地域で守る」
地域ボランティアの方々が登下校を見守っています。(写真はイメージ)

問 現場工事分離発注 市内業者の育成について

答 今年度市内の中学校3年生は734名である。そのうち工業高

校を希望している生徒が約50名、商業高校への希望が約30名、高等科の衛生看護科を希望している生徒が約10名である。

問 中学校の部活動は、地域・小学校と連携を持ち、各中学校に特色を持たせ、顧問も専門的指導

が約10名である。

問 「スクールサポート制度」という、経験豊かな元警察官などを嘱託員として採用活動する制度を利用してはどうか伺う。

答 学校と地域、警察とのパイ

役、非行防止支援をはじめ犯罪被害防止教育の支援や、児童生徒の安全教育の充実に資するものだと

思う。各学校に制度の周知を図っていく。

問 「スクールサポート制度」という、経験豊かな元警察官などを嘱託員として採用活動する制度を利用してはどうか伺う。

答 学校と地域、警察とのパイ

役、非行防止支援をはじめ犯罪被害防止教育の支援や、児童生徒の安全教育の充実に資するものだと

思う。各学校に制度の周知を図っていく。

問 現場工事分離発注 市内業者の育成について

答 今年度市内の中学校3年生は734名である。そのうち工業高

校を希望している生徒が約50名、商業高校への希望が約30名、高等科の衛生看護科を希望している生徒が約10名である。

問 中学校の部活動は、地域・小学校と連携を持ち、各中学校に特色を持たせ、顧問も専門的指導

が約10名である。

問 「スクールサポート制度」という、経験豊かな元警察官などを嘱託員として採用活動する制度を利用してはどうか伺う。

答 学校と地域、警察とのパイ

役、非行防止支援をはじめ犯罪被害防止教育の支援や、児童生徒の安全教育の充実に資するものだと

思う。各学校に制度の周知を図っていく。

問 「スクールサポート制度」という、経験豊かな元警察官などを嘱託員として採用活動する制度を利用してはどうか伺う。

答 学校と地域、警察とのパイ

役、非行防止支援をはじめ犯罪被害防止教育の支援や、児童生徒の安全教育の充実に資するものだと

思う。各学校に制度の周知を図っていく。

問 現場工事分離発注 市内業者の育成について

答 今年度市内の中学校3年生は734名である。そのうち工業高

校を希望している生徒が約50名、商業高校への希望が約30名、高等科の衛生看護科を希望している生徒が約10名である。

問 中学校の部活動は、地域・小学校と連携を持ち、各中学校に特色を持たせ、顧問も専門的指導

が約10名である。

問 「スクールサポート制度」という、経験豊かな元警察官などを嘱託員として採用活動する制度を利用してはどうか伺う。

答 学校と地域、警察とのパイ

役、非行防止支援をはじめ犯罪被害防止教育の支援や、児童生徒の安全教育の充実に資するものだと

思う。各学校に制度の周知を図っていく。

問 「スクールサポート制度」という、経験豊かな元警察官などを嘱託員として採用活動する制度を利用してはどうか伺う。

答 学校と地域、警察とのパイ

役、非行防止支援をはじめ犯罪被害防止教育の支援や、児童生徒の安全教育の充実に資するものだと

思う。各学校に制度の周知を図っていく。

問 現場工事分離発注 市内業者の育成について

答 今年度市内の中学校3年生は734名である。そのうち工業高

校を希望している生徒が約50名、商業高校への希望が約30名、高等科の衛生看護科を希望している生徒が約10名である。

問 中学校の部活動は、地域・小学校と連携を持ち、各中学校に特色を持たせ、顧問も専門的指導

が約10名である。

問 「スクールサポート制度」という、経験豊かな元警察官などを嘱託員として採用活動する制度を利用してはどうか伺う。

答 学校と地域、警察とのパイ

役、非行防止支援をはじめ犯罪被害防止教育の支援や、児童生徒の安全教育の充実に資するものだと

思う。各学校に制度の周知を図っていく。

問 「スクールサポート制度」という、経験豊かな元警察官などを嘱託員として採用活動する制度を利用してはどうか伺う。

答 学校と地域、警察とのパイ

役、非行防止支援をはじめ犯罪被害防止教育の支援や、児童生徒の安全教育の充実に資するものだと

思う。各学校に制度の周知を図っていく。

問 現場工事分離発注 市内業者の育成について

答 今年度市内の中学校3年生は734名である。そのうち工業高

校を希望している生徒が約50名、商業高校への希望が約30名、高等科の衛生看護科を希望している生徒が約10名である。

問 中学校の部活動は、地域・小学校と連携を持ち、各中学校に特色を持たせ、顧問も専門的指導

が約10名である。

問 「スクールサポート制度」という、経験豊かな元警察官などを嘱託員として採用活動する制度を利用してはどうか伺う。

答 学校と地域、警察とのパイ

役、非行防止支援をはじめ犯罪被害防止教育の支援や、児童生徒の安全教育の充実に資するものだと

思う。各学校に制度の周知を図っていく。

問 「スクールサポート制度」という、経験豊かな元警察官などを嘱託員として採用活動する制度を利用してはどうか伺う。

答 学校と地域、警察とのパイ

役、非行防止支援をはじめ犯罪被害防止教育の支援や、児童生徒の安全教育の充実に資するものだと

思う。各学校に制度の周知を図っていく。

問 現場工事分離発注 市内業者の育成について

答 今年度市内の中学校3年生は734名である。そのうち工業高

校を希望している生徒が約50名、商業高校への希望が約30名、高等科の衛生看護科を希望している生徒が約10名である。

問 中学校の部活動は、地域・小学校と連携を持ち、各中学校に特色を持たせ、顧問も専門的指導

が約10名である。

問 「スクールサポート制度」という、経験豊かな元警察官などを嘱託員として採用活動する制度を利用してはどうか伺う。

答 学校と地域、警察とのパイ

役、非行防止支援をはじめ犯罪被害防止教育の支援や、児童生徒の安全教育の充実に資するものだと

思う。各学校に制度の周知を図っていく。

問 「スクールサポート制度」という、経験豊かな元警察官などを嘱託員として採用活動する制度を利用してはどうか伺う。

答 学校と地域、警察とのパイ

役、非行防止支援をはじめ犯罪被害防止教育の支援や、児童生徒の安全教育の充実に資するものだと

思う。各学校に制度の周知を図っていく。

問 現場工事分離発注 市内業者の育成について

答 今年度市内の中学校3年生は734名である。そのうち工業高

校を希望している生徒が約50名、商業高校への希望が約30名、高等科の衛生看護科を希望している生徒が約10名である。



避難所となる体育館のトイレ改修を早く

問 政府は資金運用立国を展望しているが、教育面ではどう対応しているのか。また金融・資本の活性化は、アベノミクスの成長戦略の重要なテーマだが、教育関係者はどう考えているのか。

答 中学校では、社会科の時間に公民の分野で市場の働きと経済を学習している。家計や金融機関、企業が直接集める直接金融なども生きた教材として活用しており、政治経済に関心を持ついい機会である。

問 他団体と連携して、総合防災訓練が必要ではないか。避難所となる体育館に洋式トイレを設置してはどうか。障がい児・者の避難所の取り組みは、女性防災リーダーの養成が必要だと思うがどうか。孤独死や自殺者も多い。情報の提供やストレスケアも重要ではないか。

答 各種関係機関と連携した中で、実践的で総合的な訓練を前向きに検討したい。トイレは改修計画に沿って設置していく。障がい児・者の福祉避難所の指定については具体化する。防災リーダーの養成では、積極的に女性



小池中学校体育館のトイレ



齋藤紀美江 議員(旭日会)



投資用冊子

問 市民から施設運営に対して意見や苦情等が寄せられていると思うが、集計等は行われているのか。施設利用者の意見や要望は、アンケートや意見箱の設置で把握に努め、事業報告書にまとめられて報告される。

問 空き家対策について、空き家の持ち主から土地・空き家の寄附等をしてもらう対策を提案したいが。

答 実際寄附の話をいただくことは増えているが、寄附を受ける受けないは、申し出の物件が市の財産として有効に活用できるか、更地にして寄附されるなどで判断しており、基本は民・民での売買が望ましいが、ケース・バイ・ケースで判断していく。

問 市民から施設運営に対して意見や苦情等が寄せられていると思うが、集計等は行われているのか。施設利用者の意見や要望は、アンケートや意見箱の設置で把握に努め、事業報告書にまとめられて報告される。

問 空き家対策について、空き家の持ち主から土地・空き家の寄附等をしてもらう対策を提案したいが。

答 実際寄附の話をいただくことは増えているが、寄附を受ける受けないは、申し出の物件が市の財産として有効に活用できるか、更地にして寄附されるなどで判断しており、基本は民・民での売買が望ましいが、ケース・バイ・ケー



丸山吉朗 議員(大河の会)

燕市政は誰のものか



阿部健二 議員(無所属)

問 政策や方針決定の場への女性の参画は大事。男女共同参画条例の制定は新市建設計画搭載事業。進捗状況は、各種団体への啓発は、新市建設計画搭載事業であることを知らなかつた。すぐに取り組むように指示をした。商工会議所等と意見交換の場を持ちたい。

答 島正郎氏の本『議員』には、「一旦当選した者は、選挙母胎の地区、組織、系列などの議員ではなく、全地域の住民にかわる地位におかれたことになる」とある。その意味では、市民の要望を市にかけ合うことは、代議制民主主義での議員の役割ではないかも知れない。

また市の職員は、市民の要望を市にかけ合うことを専らとする議員を「お邪魔虫」と言ひなしているとも聞く。しかし、問題は市民の方が直接頼みに行つた場合と議員が介在した場合の市の対応が違うことで、大げさに言うと、市や市の職員に「市民のため」の意識の欠落を感じなくもない。

三条市では、「なんでも相談室」があると聞く。燕市でも14の相談窓口があるが、5つの課、6つの外郭団体にまたがつておる、市民の方は、まづどの窓口に行つたらいいかが分からぬはずである。

問 自治大学校講師 中島正郎氏の本『議員』には、「一旦当選した者は、選挙母胎の地区、組織、系列などの議員ではなく、全地域の住民にかわる地位におかれたことになる」とある。その意味では、市民の要望を市にかけ合うことは、代議制民主主義での議員の役割ではないかも知れない。

また市の職員は、市民の要望を市にかけ合うことを専らとする議員を「お邪魔虫」と言ひなしているとも聞く。しかし、問題は市民の方が直接頼みに行つた場合と議員が介在した場合の市の対応が違うことで、大げさに言うと、市や市の職員に「市民のため」の意識の欠落を感じなくもない。

燕市でも「なんでも相談室」の



各種相談日程を掲載している『広報つばめ』

問 燕市でも「なんでも相談室」の

答 当市では毎月『広報つばめ』15日号の最終ページに相談アラカルトとして各種相談日程を掲載している。市民にとって、相談内容により、それぞれの会場で、より専門的な相談を受けることができると思つていいので、この体制を継続していきたい。

基本財産1億円の方向性と運用



山崎雅男 議員(旭日会)

問 市体育協会と合併する際、財団を解散し、本財産である定期預金1億円の今後の方向性と運用について伺う。

答 市体育協会と合併する際、財団法人燕市体育協会として合併するが、基金1億円の今後の方向性と運用について伺う。

問 風呂の改修・スポーツジム機の増加、バランス感覚を養い育成効果があるトランポリンの配置や对外的移動に欠かせないマイクロバスの購入を、基金の1億円から有効利用すべきではないか。

答 財団の方から、まだ提案をいたいていないが、検討させていただきたい。

問 耕作放棄地が広がりを見せて、遊休・荒廃農地の解消に向け、どのように実効ある対策を講じるのか。

答 69ヘクタールが未改善農地であり、農地中間管理機構の活用も含め関係機関と協議し、改善に向けて努めたい。



ビジョンよしだ

『月刊広報』で つばめ市議会ノートブックが 紹介されました

「変わる議会」を印象づける広報紙リニューアルのタイトルで、全国の10市の議会を紹介した「月刊広報3月号」。燕市の議会よりも「スタイリッシュで目を引く紙面設計」との見出で「相当の準備・検討期間を経て現在のスタイルにたどり着いたことをうかがわせる」「委員会の研修・視察や議会の情報公開、市民の声など、定例会以外の話題をイキイキと伝え、ラストページまで読者を飽きさせない」と紹介されました。

また、「定例会開催告知ポスター」(兵庫県・明石市議会)、「議会のぼり旗を掲げて駅頭配布し“開かれた議会”をPR」(東京都・あきる野市議会)など、私たちの次なる目標となるものも紹介されました。「燕市議会はまだまだ発展途上」を自覚して、多くの刺激の中で市民に近づいていきたいと思います。



結城市議会
来 燕

議会広報について ともに学ぶ

1月18日に茨城県結城市的『ゆうき市議会だより』を担当する議会情報推進委員会の皆さんから来燕され、議会によりづくりについて、それぞれが抱える課題とお互いの取り組みに対して、意見交換をしました。

結城市議会はカセットテープ版の発行や、希望者への対面朗読を行うなど、その取り組みは燕市議会としても大きな刺激となりました。



燕市の委員全員が出席し、率直な意見交換を行いました



議会としては改革に向けて進めており、まず初めに広報紙を何とかしたいと考えていたところです。

ゆうき市議会だよりは「かたいイメージではないか」との指摘を受けましたが、燕市議会だよりは柔らかさがでていると感じました。よい研修ができたと思いました。



もっと×2
身近な広報へ

3月定例会の議決結果

◎は全会一致、○は賛成多数、△は継続審査、×は否決

番号	件名	審議結果	番号	件名	審議結果
当初予算	6 平成26年度一般会計予算	○	条例	18 市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	○
	7 平成26年度国民健康保険特別会計予算	○		19 市職員の給与に関する条例の一部改正	○
	8 平成26年度後期高齢者医療特別会計予算	○		20 定住自立圏の形成に係る議会の議決に関する条例の制定	○
	9 平成26年度介護保険事業特別会計予算	○		21 手数料徴収条例の一部改正	○
	10 平成26年度公共下水道事業特別会計予算	○		22 特別会計条例の一部改正	○
	11 平成26年度土地取得特別会計予算	○		23 都市公園条例の一部改正	○
	12 平成26年度企業団地造成事業特別会計予算	○		24 市営住宅条例の一部改正	○
	13 平成26年度水道事業会計予算	○		25 市有吉田東栄町住宅条例の一部改正	○
補正予算	15 平成25年度一般会計補正予算(第7号)	○		26 奨学基金条例の一部改正	○
	16 平成25年度介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	○		27 子ども・子育て会議条例の制定	○
	17 平成25年度公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	○		28 スポーツ推進審議会条例の一部改正	○
	31 平成25年度一般会計補正予算(第8号)	○		29 市道路線の認定及び廃止	○
	32 平成25年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○		30 財産の取得の変更(西部学校給食センター厨房機器)	○
	33 平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○		1 人権擁護委員候補者の推薦	○
	34 平成25年度介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	○		14 監査委員の選任	○
	35 平成25年度公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	○			
その他	36 平成25年度土地取得特別会計補正予算(第1号)	○			
	37 平成25年度一般会計補正予算(第9号)	○			
	38 平成26年度一般会計補正予算(第1号)	○			

※網かけ(■)は賛否が分かれた議案等です。

各議員の賛否

賛否が分かれた上表の網かけ(■)の議案等について、議員別に賛否を公表します。

議案番号等	議決結果	合計			旭日会								鴻鵠クラブ				大河の会				日本共産党			公明党		無所属		
		賛成	反対	棄権	小林由明	中山眞二	大原伊一	山崎雅男	塙豊	齋藤紀美江	中島清一	大岩勉	田村善典	中條征男	渡邊広宣	齋藤吉朗	丸山義和	中島信行	齋藤由喜雄	長井昇	土田一	本多惠美	渡邊雄三	桶浦タナカ・キン	阿部健二	田辺博		
6	可決	16	5	0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●	●	●	●		
7	可決	16	5	0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●	●	●	●		
8	可決	16	5	0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●	●	●	●		
9	可決	16	5	0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●	●	●	●		
10	可決	17	4	0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	●	●	●		
13	可決	18	3	0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	●	●	●		
19	可決	16	5	0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	●	●	●		
31	可決	17	4	0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	●	●	●		
32	可決	17	4	0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	●	●	●		
33	可決	17	4	0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	●	●	●		

※○は賛成、●は反対、棄は棄権、欠は欠席。なお、議長(齋藤廣吉)は採決には加わらない。

議会日誌

主な動きをお知らせします

1月 29 日	議会運営委員会・全員協議会
2月 20 日	全員協議会・第2回議員定数調査特別委員会
2月 26 日	議会運営委員会
2月 27 日	全員協議会・議員協議会
3月 4 日	議会報等特別委員会
3月 6 日	議会運営委員会
3月 6・7・10・11・20日	本会議
3月 12 日	総務文教常任委員会
3月 13 日	市民厚生常任委員会・産業建設常任委員会
3月 14・17・18日	予算審査特別委員会

3月 20 日	議会運営委員会・全員協議会
4月 9 日	議会報等特別委員会
4月 14 日	議会報等特別委員会

視察の受け入れ

2月 4 日	守山市議会「公共施設調査特別委員会」行政視察
2月 5 日	川口市議会事務局職員視察
2月 12 日	安来市議会「市庁舎等建設事業特別委員会」行政視察
3月 6 日	札幌市議会議員会派「自民党市民会議」行政視察
3月 26 日	日向市議会会派「市政会」行政視察
3月 27 日	会津若松市議会会派「自民クラブ」行政視察
4月 8 日	越前市議会会派「自由クラブ」行政視察



す べての子どもと家庭を 支援します

燕市子ども・子育て会議条例の制定
◎全会一致で可決

平成27年4月からスタートする「子ども・子育て新制度」への対応に向けて、合議制の機関として設置する「子ども・子育て会議」に関する条例。

問 現在ある「次世代育成支援推進委員会」との違いは何か。

委員の選考について、どのように考えているのか。委嘱というと同じ顔ぶれになりやすい。重複は避けるべきだが、どう考えているのか。

答 「次世代育成支援推進委員会」でつくったのは平成27年3月までの計画で、この「子ども・子育て会議」に関するものは平成27年4月から



子どもの豊かな放課後保障の審議もされる

新制度として動くもの。

メンバー構成は法律上規定されている。保護者・保育士・事業主・労働者・公募・大学の教授等、識見を有する者で、15名程度。付属機関の委員の設置については、5機関以内という指針がある。推薦願いを出すときに意向を伝えていきたい。

老 朽化している市営住宅の 取り壊しを進めます

老朽化している市営住宅の取り壊しを進めているが、取り壊された住宅を取り除くための条例の改正。



空き地が広がった緑町市営住宅

燕市営住宅条例の一部改正

◎全会一致で可決

問 緑町住宅団地の現状はどうか。今後どのように取り組んでいくのか。また、地震等の危険性はないのか。

答 順次取り壊しを進めているが、1棟のうち1戸でも入居者がいれば取り壊すことができない。平屋建てであるため、地震の被害はあまりない。老朽化しているので注意深く見ていきたい。

新しい市議会議員を ご紹介します

4月6日に告示された市議会議員補欠選挙で、宮路敏裕さん(56歳)が当選されました。



市民の声にしっかりと耳を傾け、市民の代弁者としての責任を果たすため、全力を尽くします。

みやじ としゆう
宮路敏裕 議員(燕市東太田)

議員定数調査特別委員会 から報告します

平成25年12月議会に設置された「議員定数調査特別委員会」は、人口7万人から10万人規模の全国自治体資料なども検討し、議員全員の意見を出し合いました。その結果、改選まで8ヶ月を過ぎた中で、早急に定数を減らすべきとの意見はありませんでした。

10月に行われる一般選挙で選出される議員によって協議していくことになり、特別委員会は3月20日解散しました。

3月定例会

議論は集中!



補 正予算の主な質疑 平成25年度一般会計

平成25年度 補正総額
7億4,955万6,000円

◎賛成多数で可決

都市計画費

須頃郷排水対策事業 △3,800万円

問 進捗状況と減額理由について。

答 工期延長につき、平成26年度に繰り越すための減額。井土巻3丁目9号線(イオン側)延長54m 650トン 井土巻須頃線(ガソリンスタンド脇)延長36m 600トン 全事業の完了は平成28年度。完了後の対応雨量は1時間当たり49.9ミリとしている。



イオン側の排水対策工事

清掃費

燕・弥彦総合事務組合負担金 △2,768万円

問 減額理由は何か。

答 事業費の経費節減と粗大ゴミシール販売や可燃ゴミ・不燃ゴミの受け入れ料金の増額、有価物(金属・紙・瓶)の販売金額の増などがあり、その分負担金が減額となった。



分別で資源収入となる

保健体育費

東部学校給食センター建設事業 △5,999万円

問 減額理由は何か。

答 老朽化した施設の改修等が多いなど、市の建設計画全体の見直しをしている。その結果、翌年度以降に時期をスライドさせることによる減額。

農林水産業費

農地面的集積促進事業費補助金 1,100万円

問 この補助金の対象は何か。

答 一般の農家の方々が対象。農業をリタイアする人や経営を転換する人に対する「経営転換協力金」及び分散した農地の連担化に協力する農地の所有者への「分散錯置解消協力金」の2種類がある。

議会が/もっと/近くなる 市民の声



これからも農業を続けたい

廣瀬フジエさん（中島）

12年前に主人を亡くし、孫の面倒を見ながら農業をしていますが、週末は若い者が手伝ってくれます。将来は野菜の販売等もしたいと思っていますが、農業を続けるには米価が安定することが大事だと思います。

合併後、住民の声が市に届きにくくなつたと感じますが、今までつき合いのなかつた地域の人たちとも知り合える農協婦人部の集い等で、さまざまな情報を得ることができるようになったので、よかったです。



農政関係の予算が少ないのでは？

加藤達男さん（吉田本町）

議会報はときどき読む程度です。政治には関心があります

が、議会の傍聴には行ったことがありません。燕市の予算には、農政関係のものが少ないと感じます。

春キュウリ農家として3代目になりますが、ビニールハウスや農機具の買いかえ等で、かなりの費用がかかります。国や県の補助金等の情報をいち早く私たちに伝えてほしいし、市としても何らかの補助金や助成をお願いしたいと思っています。

農業への取り組みに
もっと力を入れて

山口 均さん（松橋）

一度行ったことのある議会傍聴は迫力がありましたが、市政に関する一般質問の中には、市政で取り上げる内容ではないと思うものがあるように感じます。

議会報については、議員の思いや考え方を長々と書くより、簡潔なQ&A形式にしたほうが、私としては読みやすいと思います。

燕市の農業に対する取り組みについては、もっと力を入れてほしいと感じています。せめて他自治体並みの取り組みを期待します。



「これが燕」という
目玉品を

江村正樹さん（佐渡）

議会報は読んでいないし、傍聴に行つたこともありません。議会に対しては、それぞれの議員が自分の地域をよくしようという思いが強すぎると、市として全体のまとまりがなくなる気がします。

行政に対しては、市域が大きくなつた分、声が伝わりにくいう気がします。小さなことへの気づきが感じられない。お金をかけなくてもできることを、すぐにやってほしいです。

農業に対しては、農協との連携がない。農協と農業者と行政が一緒になつて、農政を考える取り組みをしてほしいし、ホームページに関係団体のリンクを張つてほしい。少量農品（多品目）はよいが、「これが燕」という目玉品をつくるべきと思います。



編 集 後 記

▼17ページでもご紹介したように、日本広報協会の「月刊広報3月号」に「つばめ市議会ノートブック」が紹介されました。私たちも見つけてビックリです。▼私たちが「読まれる議会報」にと、取り組んできたことが、少し報われたようで嬉しくなりました。

長井由喜雄

QRコードから
議会のホーム
ページへ
アクセス



今号の表紙

鯉のぼりが元気に泳ぐ
季節となりました。ツバ
メに引っ張られて、もつ
と高く高く舞い上がれ。

スマートフォンや
タブレット端末から
アクセスできます



【議会報等特別委員会】

委員長：渡邊雄三 副委員長：齋藤紀美江
委員：小林由明 橋浦恵美 タナカ・キン 長井由喜雄 齋藤信行